

令和6年4月25日
国立大学法人筑波大学

AI パートナーシップ（筑波大学と UW、NVIDIA、Amazon）秋以降の発進に向けて



（左から）レモンド米商務長官、デヴィッド・ザポルスキー Amazon 上級副社長、トリシア・セリオワシントン大学プロボスト、永田恭介学長、ネッド・フィンクル NVIDIA 副社長、盛山正文部科学大臣

筑波大学は、米国ワシントン大学（ワシントン州シアトル）、米国の NVIDIA 社、Amazon 社と人工知能（AI）分野でのパートナーシップに合意、米国の首都ワシントンで調印式がありました。この合意を受けて、各団体と正式な契約に向けての交渉が始まります。早ければ秋以降の共同研究正式スタートを目指し、契約締結に向けて、具体的内容を詰めてまいります。

調印式は、現地時間4月9日午後3時に米国商務省で行われ、日本時間10日午前4時発出のプレスリリースでも詳報しました。

筑波大学から永田恭介学長、ワシントン大学トリシア・セリオプロボスト、NVIDIA 社のネッド・フィンクル副社長、Amazon 社のデヴィッド・ザポルスキー上級副社長が調印式に臨みました。また、パートナーシップの筑波大学側の受け皿である人工知能科学センター長の櫻井鉄也教授も同席し、調印式を見守りました。

日米の大学と企業による新たな連携の枠組みは、G7広島サミットの際に打ち出された東京大学とシカゴ大学との量子パートナーシップ、日米 11 大学が参画する日米半導体連携パートナーシップに続くもので、AI 分野としては、筑波大学とワシントン大学などとの枠組みが発表されるに至りました。このパートナーシップは10年間を期間とし、現段階では、Amazon 社が 2,500 万ドル(およそ37.5 億円)、NVIDIA 社が 2,500 万ドル(およそ37.5 億円)の支援を表明しています。

人工知能科学センター長の櫻井鉄也教授(システム情報系)によれば、今後のポイントは次のようなものとなります。

「信頼できる AI、プライバシーを守るAIの研究を加速化させていくことが重要です。医療分野、ヘルスケア分野、スポーツとAIを組み合わせたいテーマも進めていきたい。」

パートナーシップは、共同研究、人材育成、アントレプレナーシップ、社会実装への道筋などで構成されます。その一つである「人材交流」に関しては、大学や企業の研究者が、日米それぞれの研究の場に常駐できるような構想を描いています。また、本学の研究者などがアメリカ側企業に派遣されたり、夏期に特別プログラムを組んで、学生を対象にした人材育成プログラムなども検討されています。

LOI(Letter of Intent)段階を経た今、正式契約に向けた交渉が始まっていきます。具体的な協力の内容も詰めていきながら、早ければ、秋以降にこのパートナーシップが正式にスタートすべく、歩を進めてまいります。

(関係機関によるニュース記事)

UW

<https://www.washington.edu/news/2024/04/09/uw-joins-110-million-cross-pacific-effort-to-advance-artificial-intelligence/>

NVIDIA

<https://blogs.nvidia.com/blog/partnership-universities-teach-ai-skills>

Amazon

<https://www.aboutamazon.com/news/innovation-at-amazon/amazon-invests-25-million-in-a-10-year-research-collaboration-to-advance-ai>

<問合せ先>

筑波大学広報局報道係

TEL : 029-853-2040

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp



櫻井 鉄也(さくらい てつや)

筑波大学 人工知能科学センター センター長
システム情報系教授
博士(工学)

放送大学客員教授
理化学研究所客員主幹研究員 MathDesign
株式会社 CEO

AI アルゴリズムやコンピュータシミュレーションアルゴリズムのための
数学手法分野で先駆的な研究を行う研究者。

最近では日米の大学間連携でプライバシー強化 AI 技術を開発している。

(専門分野等)

- 数理アルゴリズム、とくに潜在空間による知識発見やデータ解析・画像解析、
ニューラルネットワーク計算などの AI アルゴリズム
- 大規模シミュレーションのためのスーパーコンピュータ向けアルゴリズム、
量子計算アルゴリズムの研究。
- 米国 SIAM、日本応用数理学会、数学会、情報処理学会会員。
- 固有値解析アルゴリズムに関する研究業績により、2018 年 4 月に
平成 30 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞。